

浜松医科大学小児科学雑誌の査読について

本誌では、公正・公平かつ科学的な査読を行うために以下のような査読要領を設けました。投稿規程とあわせ、可能な限り本査読要領に沿った査読をお願いいたします。

査読要領

1. 基本的注意事項

未発表論文の内容を利害関係のある他者に伝えることは、情報の漏洩に相当する違反行為ですので、守秘義務の厳守をお願いいたします。

また、本誌では論文の著者名・所属は伏せて査読をお願いしていますが、内容から利益相反が推量される場合には公正な査読ができないため、査読を辞退して頂くようお願いいたします。

2. 投稿論文著者名・所属に関して

最近では、日本の各学会誌や英文誌でも著者やその所属先を明らかにしているのがほとんどです。しかし本誌では、著者が浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師、あるいは浜松医科大学小児科同窓会会員のため、他誌以上に著者の地位や所属先によるバイアスが生じやすい状況にあります。こうした点を鑑み、公正を期する意味で著者およびその所属先を伏せております。

3. 査読結果の記載

原則、査読用原稿とともにお送りする専用の査読用紙（Microsoft Word ファイル）にご記入下さい。

査読用紙へのご記入が困難な場合は、本誌編集委員会にご連絡下さい。その上で、お手持ちの文章作成ソフトを使用して査読結果を記載していただいても構いません。その場合でも、「編集委員会への推奨: Accept, Minor Revision, Major Revision, Reject, Immediate Reject の判定」「編集委員会へのコメント」「著者へのコメント」は必ずご記載下さい。

4. 編集委員会への推奨について

査読の結果として、掲載可・不可・要修正など本誌編集委員会への推奨の判定をお願いいたします。この推奨に基づき、本誌編集委員会において対応を決定させていただきます。

推奨判定は以下から選択してください。

- **Accept** : 修正なしで掲載してよい場合に選択してください。
- **Minor Revision** : 投稿された論文を掲載することを前提として、若干の記載の追加、語句や文章、図表の修正が必要な場合に選択してください。
- **Major Revision** : 投稿された論文につき掲載の可能性のあるものの、大幅な修正が必要な場合に選択してください。緒言の不備、方法の明確化、解析の追加・修正、結果の解釈の変更、考察の変更、結論の変更などが該当します。
追加実験や追加データの提出を要求する場合があります。
- **Reject** : 投稿された論文は修正後にも掲載は困難であると判断した場合に選択してください。
研究や症例報告に新規性・重要性がない、方法に致命的な欠点があるような場合が該当します。
- **Immediate Reject** : 投稿された論文に倫理的問題や科学不正が疑われる場合に選択してください。
倫理的な判断で迷う場合には編集委員会にご相談ください。

* 「Minor Revision」「Major Revision」と判定された論文に関し、著者により改訂され再度投稿された論文が査読者のコメントに十分対応していると本誌編集委員会が判断したときには、再査読を依頼せずに論文

を採択・掲載することがあります。

- * 査読者のコメントへの対応が十分であることを編集委員会が判断できない場合には、再査読をお願いすることになります。

5. 編集委員会へのコメントについて

投稿された論文について、編集委員会への推奨の判定理由や査読をされていて気になった点、判断に迷う点などをご記載ください。

このコメントについては原則として著者には伝えませんが、著者へのフィードバックが必要と判断した場合は、編集委員会からの意見として著者に伝えさせていただきます。

また、投稿規定や査読過程などについてのご意見を記載していただいても構いません。

6. 著者へのコメントについて

投稿された論文につき、査読者としてのご意見を存分にご記載いただいても構いませんが、コメントは直接著者に送られることを前提に記載ください。

また、コメントの記載につきましては、可能な限り「7. 査読の方針」に沿った形でお願いいたします。

7. 査読の方針

- 1) 投稿者の立場に立ち、投稿者が対応に困るような曖昧な査読コメントではなく、投稿者がしっかり納得ができ、修正可能な具体的指摘を含んだ説明と査読コメントをお願いします。査読者は、投稿者に対して教育的見地から、投稿者が修正可能であり、指摘事項の根拠が明確で、投稿者が納得できるような査読をしてください。
- 2) 出来る限り初回の投稿で、「当該論文は指摘事項に則った修正が行われれば掲載可能であるか」を判断してください。何度も修正した後に「Reject」とすることは出来るだけ避けてください。実際には、修正後に研究の不十分な点が明確になり、当初とは違った判断をすることがあります。初回査読での評価が絶対ということではありません。論文が不十分で、修正しても受理が難しいかもしれないと判断される場合には、「Reject」を選択してください。その場合は、掲載不可の理由を明確にコメントしてください。
- 3) 可能な限り、初回の査読で論文の不十分な点は全てご指摘ください。2回目以降の査読は、初回の査読で修正されていない点、修正が不十分な点を中心に査読し、全く別の新たな修正点を要求することは、修正投稿で新たな問題が出てきた場合を除き、出来るだけ避けてください。
- 4) 論文の日本語表現は、科学論文として誤解なく意味が通じていれば、表現自体をあまり細かく修正する必要はありません。細かな語句の表現より全体としての論文の重要性、内容の妥当性、科学的な曖昧さの除去を重視してください。

8. 査読期間

初回査読期間は原則4週間とします（査読期限の数日前にリマインドを行います）。避けられない要因で査読期間の延長が必要な場合には、本誌編集委員会にご連絡ください。

連絡なく査読期間を大幅に超過した場合には、査読依頼を取り消す場合があります。

不慮の事態で応諾後に査読を断る場合には、全体の査読期間を延長させ投稿者に不利益が生じますので、出来るだけ速やかに編集委員会までご連絡ください。

2回目以降の査読期間につきましては、修正内容等により設定させていただきます。